

1. 科目名 (単位数)	社会教育課題研究 (2 単位)		3. 科目番号							
2. 授業担当教員	手打 明敏									
4. 授業形態	受講学生がそれぞれ研究課題を設定し、調査研究を行い、グループ討議等で課題意識を整理しレポートを作成する。		5. 開講学期	4 年秋						
6. 履修条件・他科目との関係	本科目は、文部科学省令で定められた社会教育主事養成科目の選択必修科目であり、4年次に実施される社会教育実習を終えた後に実施され、社会教育実習のまとめとして位置付けられる。本科目受講前に、生涯学習概論、生涯学習支援論、社会教育支援論、社会教育演習を受講しておくこと。									
7. 講義概要	<p>人びとが日常生活のなかで行っている教育・学習活動は、学校の他、家庭や職場、地域等において展開されている。地域住民がおこなう自主的な教育・学習活動が社会教育であり、こうした社会教育活動に対して社会教育行政による支援活動がおこなわれている。</p> <p>本科目は、文部科学省の省令で定められている社会教育主事養成科目のうち選択必修科目として位置づけられている。本授業は、社会教育主事養成課程の4年次秋学期に実施される。それまでの社会教育関係科目をふまえて社会教育に関するまとめとして実施される。とくに社会教育実習の他、本学で開設されているソーシャルワーク実習、精神保健福祉援助実習、保育実習での体験的学習をふまえ、受講学生が課題を設定し、課題解決について調査・研究を行い、受講生による討議を通じて研究課題をレポートとしてまとめる。</p>									
8. 学習目標	<p>本授業では、社会教育主事養成課程のまとめとして位置付けられる科目であり、社会教育主事基礎資格ならびに社会教育士に求められる知識、技術を習得するため、下記の学習目標の達成に努める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学校以外の場で展開されている地域における住民の様々な学習活動について理解する。</li> <li>② そのような学習活動を支援するのが社会教育であることを理解し、説明することができる。</li> <li>③ 特に実習先等の施設における人々の学習支援活動(社会教育)の状況を把握するとともに、学習活動支援の問題・課題を的確にとらえ説明することができる。</li> <li>④ 社会教育実習等の体験的学習で感じた問題・課題について研究・協議し、解決案、改善案を提案できる力量を修得する。</li> <li>⑤ 社会教育推進方策について、根拠をもって発表できることをめざす。</li> <li>⑥ 社会教育主事や社会教育士の職務内容を理解し、専門職としての重要性を自覚する。</li> </ol>									
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	授業での調査研究、および討議をふまえて、受講生の課題テーマをまとめ、学期末に2000字から4000字程度を作成していただく。									
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 手打明敏・上田孝典編著『&lt;つながり&gt;の社会教育・生涯学習』東洋館出版社、2017年</p> <p>【参考書】 佐藤一子『「学びの公共空間」としての公民館』岩波書店、2018年</p>									
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会教育に関する理念・社会的役割について理解し、具体的に説明できる力を身につけたか。(知識・理解)</li> <li>2. 社会教育に関する現代的課題について自ら主体的に研究し、適切なテーマを設定した上で自身の見解をまとめることができたか。(思考力・判断力・表現力)</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">1. 授業への取り組み姿勢</td> <td style="text-align: right;">総合点の 20%</td> </tr> <tr> <td>2. 授業内での課題提出(課題レポート等)</td> <td style="text-align: right;">総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3. 期末レポート(研究成果発表含む)</td> <td style="text-align: right;">総合点の 50%</td> </tr> </table>				1. 授業への取り組み姿勢	総合点の 20%	2. 授業内での課題提出(課題レポート等)	総合点の 30%	3. 期末レポート(研究成果発表含む)	総合点の 50%
1. 授業への取り組み姿勢	総合点の 20%									
2. 授業内での課題提出(課題レポート等)	総合点の 30%									
3. 期末レポート(研究成果発表含む)	総合点の 50%									
12. 受講生へのメッセージ	授業の前半では教科書を購読し、受講者が参加した実習等をふまえて社会教育・生涯学習にかかわる課題を整理し、各人の課題テーマを設定していただく。授業の後半では、各人の研究課題を報告していただき、討論する。授業のまとめとして研究課題についてレポートを作成していただく。受講生の積極的、主体的な参加を求める。									
13. オフィスアワー	初回授業で連絡する。									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第1回	オリエンテーション	事前学習	教科書に目を通しておくこと。							
		事後学習	社会教育と生涯学習の関係について整理する。							
第2回	序章「<つながり>の社会教育・生涯学習」(1)	事前学習	序章を通読し、要点をまとめる。							
		事後学習	現代社会における<つながり>の意味について整理する。							
第3回	序章「<つながり>の社会教育・生涯学習」(2)	事前学習	序章を通読し、要点をまとめる。							
		事後学習	現代社会における<つながり>ことの必要性について整理する。							
第4回	第3章「住民主体の地域運営と公民館」(1)	事前学習	第3章を通読し、要点をまとめる。							
		事後学習	公民館の機能について整理する。							
第5回	第3章「住民主体の地域運営と公民館」(2)	事前学習	第3章を通読し、要点をまとめる。							
		事後学習	地域のつながりに果たす公民館について整理する。							

第6回	第5章「学校と地域の協働関係づくりの方策」(1)	事前学習	第5章を通読し、要点をまとめる。
		事後学習	協働論について整理する。
第7回	第5章「学校と地域の協働関係づくりの方策」(2)	事前学習	第5章を通読し、要点をまとめる。
		事後学習	コミュニティ・スクールについて整理する。
第8回	第6章「若者にとってのたまり場・居場所」	事前学習	第6章を通読し、要点をまとめる。
		事後学習	たまり場と居場所の異同について整理する。
第9回	第8章「地域の自治を志向する住民の学び」	事前学習	第8章を通読し、要点を整理する。
		事後学習	地域づくりと住民の学びについてまとめる。
第10回	第10章「障害者の地域における自立を支える親の役割」	事前学習	第10章を通読し、要点をまとめる。
		事後学習	知的障害者をもつ親の学習について整理する。
第11回	研究課題テーマ案の発表	事前学習	研究課題テーマ案を準備する。
		事後学習	質疑をふまえ研究課題テーマ案を検討する。
第12回	研究課題テーマの検討(1)	事前学習	研究課題を整理し、発表資料を作成する。
		事後学習	質疑をふまえ、研究課題テーマおよび内容を修正する。
第13回	研究課題テーマの検討(2)	事前学習	発表資料を作成する。
		事後学習	質疑をふまえ、研究課題テーマおよび内容を修正する。
第14回	研究課題テーマの検討(3)	事前学習	発表資料を作成する。
		事後学習	質疑をふまえ発表内容の最終修正をする。
第15回	研究課題テーマに関わる報告要旨の発表	事前学習	研究課題について最終報告資料を作成する。
		事後学習	本授業の成果を確認し、研究課題に関わる課題レポートを作成する。